

中学生の「税についての作文」優秀作品
『十日町納税貯蓄組合連合会 優秀賞』

税金の大切さ

十日町市立 松之山中学校 3年
南 雲 愛 友

「消費税なんかなくなればいいのに」私は、去年までそう思っていた。私が、税金の大切さに気づいたきっかけは社会の授業で「税金がなくなるとどうなるのか」についての動画を見たのがきっかけです。動画を見てわかったことは、税金がなくなると、道路が陥没しても直さずにそのまま放置されていたり、火災や交通事故が起きたときに消防車や救急車、警察を呼ぶのにもお金がかかってしまうのがよくわかりました。消費税がなくなってしまうと、商品を買う人は得をするけど、生活が逆に不便になることがあるということがわかりました。消費税がなくなると、生活が苦しくなるということを感じました。生活が苦しくなると、食べ物や電気代、いろんなものを買えなくなったり、お金を払えなくなるというのが、大変だな。と改めて思いました。他にも、国税の所得税・法人税、地方税の自動車税・不動産取得税・固定資産税、入湯税などで国や市・町などが成り立っているということがわかりました。市や町などでは、県や国から支援金をもらっていることも初めて知りました。お金が足りないときは、助け合っているんだな。と強く感じました。この税金で、建物の建設や道路の整備でみんなの暮らしやすい社会をつくっているのがすごくいいな。と思いました。少子高齢化で人口が減っている中でも、世代を問わずみんなが安心して暮らしをよくするために消費税や税金を引き上げることによって、全世代を対象に社会保障を安定させることができます。社会保障を確保することで将来世代の税金の負担が減り、社会保障制度の持続させる可能性を上げることにつながります。私が大人になったときに、税金の大切さを小学生や中学生に伝えていきたいな。と思いました。これからも税金を大切にしていきたいです。税金は、私たちの生活を明るくしてくれるものだと思います。当たり前の生活だと思っていたものが誰かに支えられて生きているということがすごく幸せなことだな。と思いました。私たちを支えてくれる人たちに感謝して過ごしていきたいです。